

大ヶ洞川河川総合開発事業

# 大ヶ洞ダム



南飛驒の未来をひらく生活ダム



岐阜県・下呂市

# 事業概要

## ◆事業の概要

大ヶ洞ダムは、木曾川水系大ヶ洞川の岐阜県下呂市萩原町大ヶ洞地内に多目的ダムとして建設するもので、大ヶ洞川総合開発の一環をなすものです。

ダムは、重力式コンクリートダムとして高さ42.5m、総貯水量450,000m<sup>3</sup>、有効貯水容量340,000m<sup>3</sup>で、洪水調節、流水の正常な機能の維持ならびに水道用水の供給を目的としています。

### ◎ 洪水調節

ダム地点の計画高水流量51m<sup>3</sup>/sのうち、21m<sup>3</sup>/s洪水調節を行い、大ヶ洞川沿川地域の水害を防除します。

### ◎ 流水の正常な機能の維持

ダム地点下流の大ヶ洞川沿川の既得用水の補給を行う等、流水の正常な機能の維持と増進を図ります。

### ◎ 水道用水

萩原町宮田、大ヶ洞、奥田洞の3地区に対して、水道用水として新たに最大560m<sup>3</sup>/日(0.0065m<sup>3</sup>/s)の水道用水の供給を可能にします。

## ◆事業の必要性

大ヶ洞川は、過去幾多の洪水の氾濫に見舞われており、出水のたびに多大な被害を受けています。さらに流域は、農用地、住宅地として高度に利用され、河道拡幅による全川改修は、用地取得が困難なため不可能な状態にあり、ダムによる洪水調節が最も効果があり、かつ経済的な状況にあります。

一方、この地区では、夏期にはしばしば深刻な水道水不足に見舞われており、また流域では、宅地開発による人口増加及び下水道計画による水道水の需要の急増が見込まれて新たな水源の確保が必要となっています。

## ◆流域の概要

大ヶ洞川は、岐阜県下呂市萩原町に位置し、その源を中部山岳地帯に発し、山間部を北流し、萩原町宮田地先で飛驒川に合流する流域面積9.1km<sup>2</sup>、流路延長3.5kmの一級河川です。

大ヶ洞川流域は、内陸性の気候を示し、降雨量は梅雨期、台風時に多くなっています。流域の年平均降水量は、2,350mm程度、年平均気温は約11℃です。本川の水利利用は古くからかんがい用水及び水道用水の水源等に利用されています。

## ◆事業経過

昭和63年4月	建設採択	平成7年11月	定礎式
平成4年4月	基本協定締結	平成9年9月	本体コンクリート打設完了
平成4年12月	補償基準受結	平成10年10月	湛水式
平成6年6月	付替道路完成	平成11年3月	試験湛水終了
平成6年7月	本体工事着手		ダム完成
平成7年8月	本体コンクリート打設開始		

## ◆総事業費 約121億円

## ◆事業期間 昭和63年度～平成10年度

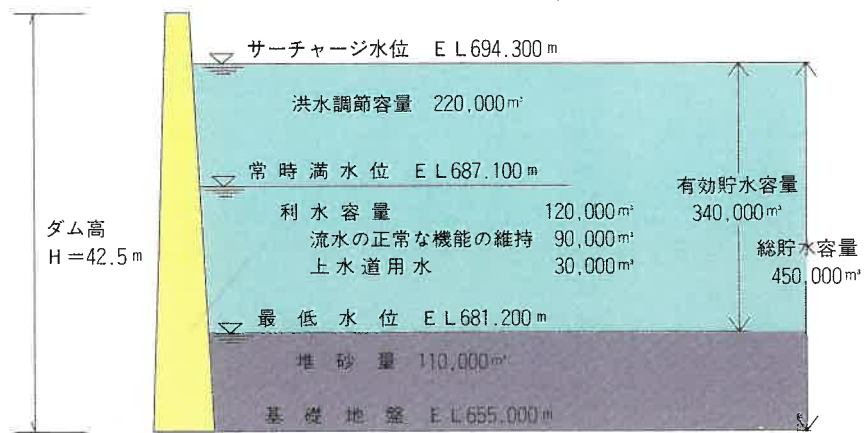
# ダム及び貯水池

## ◆ダム及び貯水池諸元

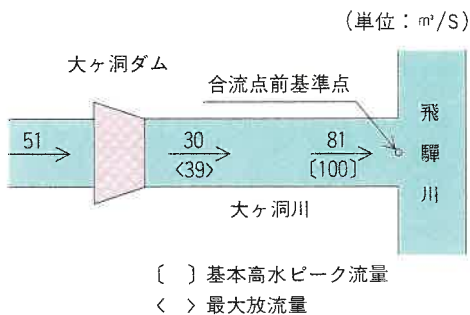
ダ		ム	貯 水 池	
形 式	重力式コンクリートダム	集 水 面 積	4.4 km <sup>2</sup>	
堤 高	42.5 m	湛 水 面 積	0.04 km <sup>2</sup>	
堤 頂 長	238.0 m	総 貯 水 容 量	450,000 m <sup>3</sup>	
堤 頂 幅	4.0 m	有 効 貯 水 容 量	340,000 m <sup>3</sup>	
堤 体 積	120,000 m <sup>3</sup>	堆 砂 容 量	110,000 m <sup>3</sup>	
ダム天端標高	EL697.5 m	設 計 洪 水 位	EL695.7 m	
計画高水流量	51 m <sup>3</sup> /S	サーチャージ水位	EL694.3 m	
最大放流量	39 m <sup>3</sup> /S	常 時 満 水 位	EL687.1 m	
ダム設計洪水流量	180 m <sup>3</sup> /S	最 低 水 位	EL681.2 m	
放 流 設 備	常 用 洪 水 吐	オリフィスによる自然調節 2.45mD×2.45mB×1門	(地 質) 花崗班岩	
	非 常 用 洪 水 吐	フレスト自由越流 1.4mH×12.5mB×4径間		
	低水放流設備 (機能維持)	ジェットフローゲート φ250mm		

## ◆貯水池容量配分図

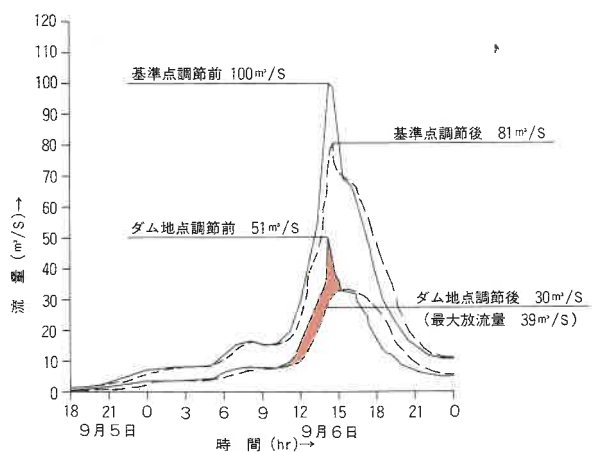
非越流部標高 EL=697.5 m



## ◆洪水調節計画図

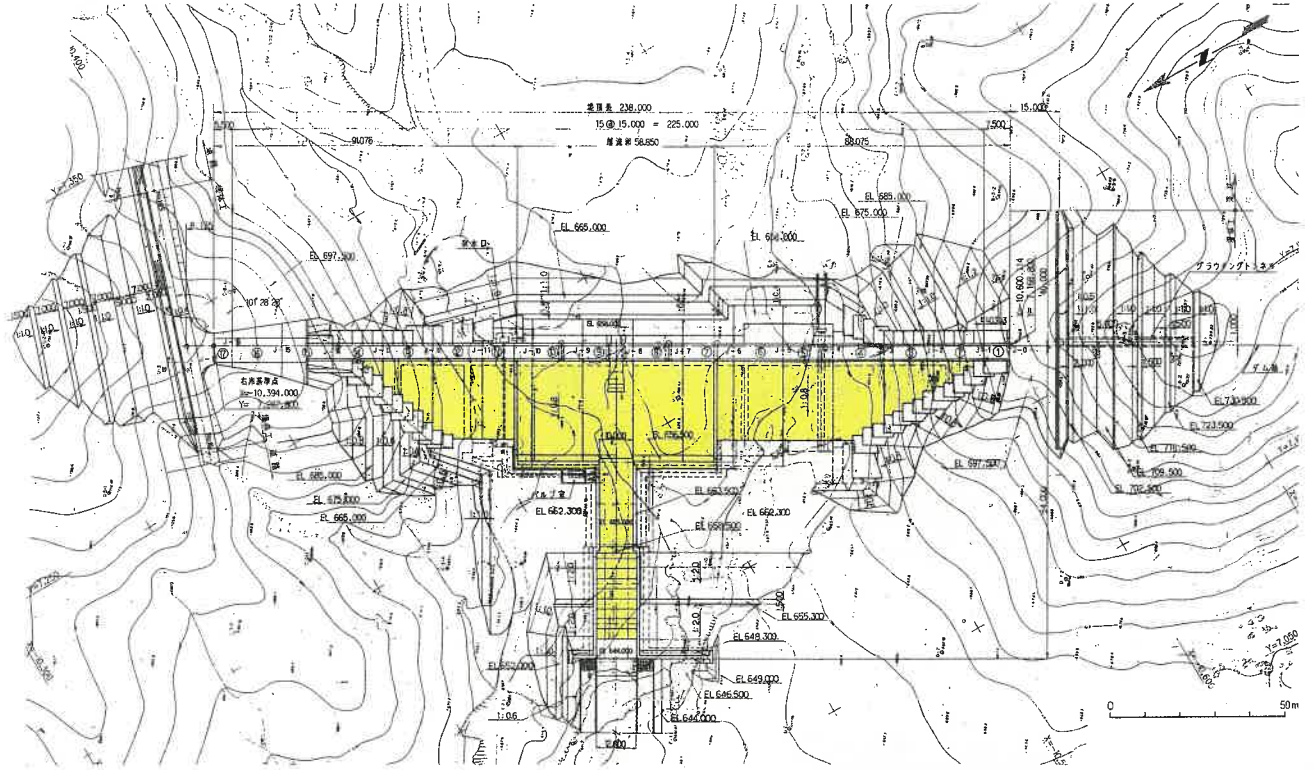


## ◆計画高水流量配分図

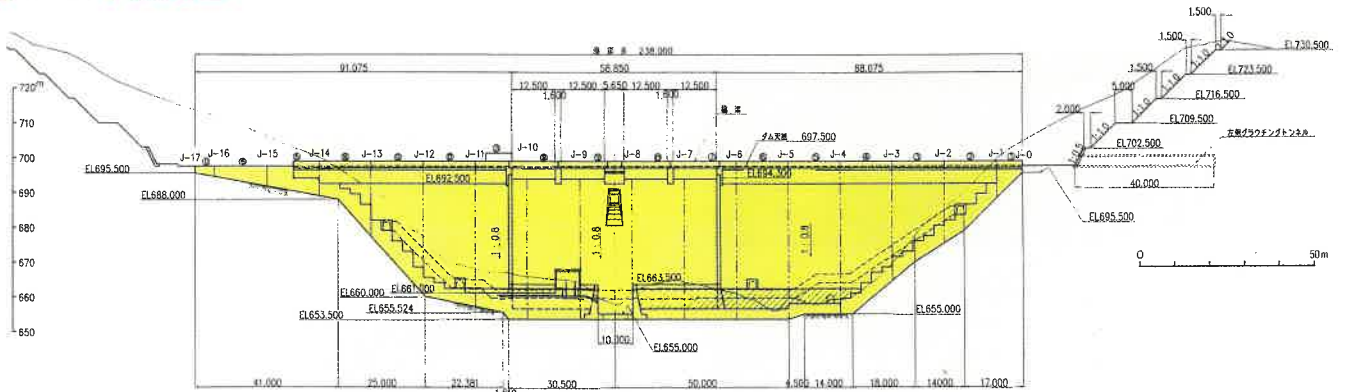


# ダム構造図

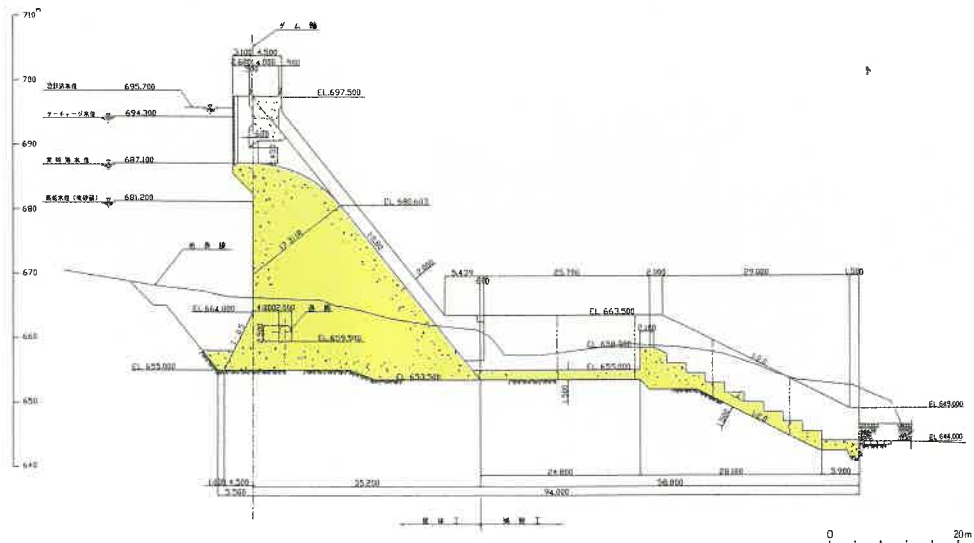
## ◆ダム平面図



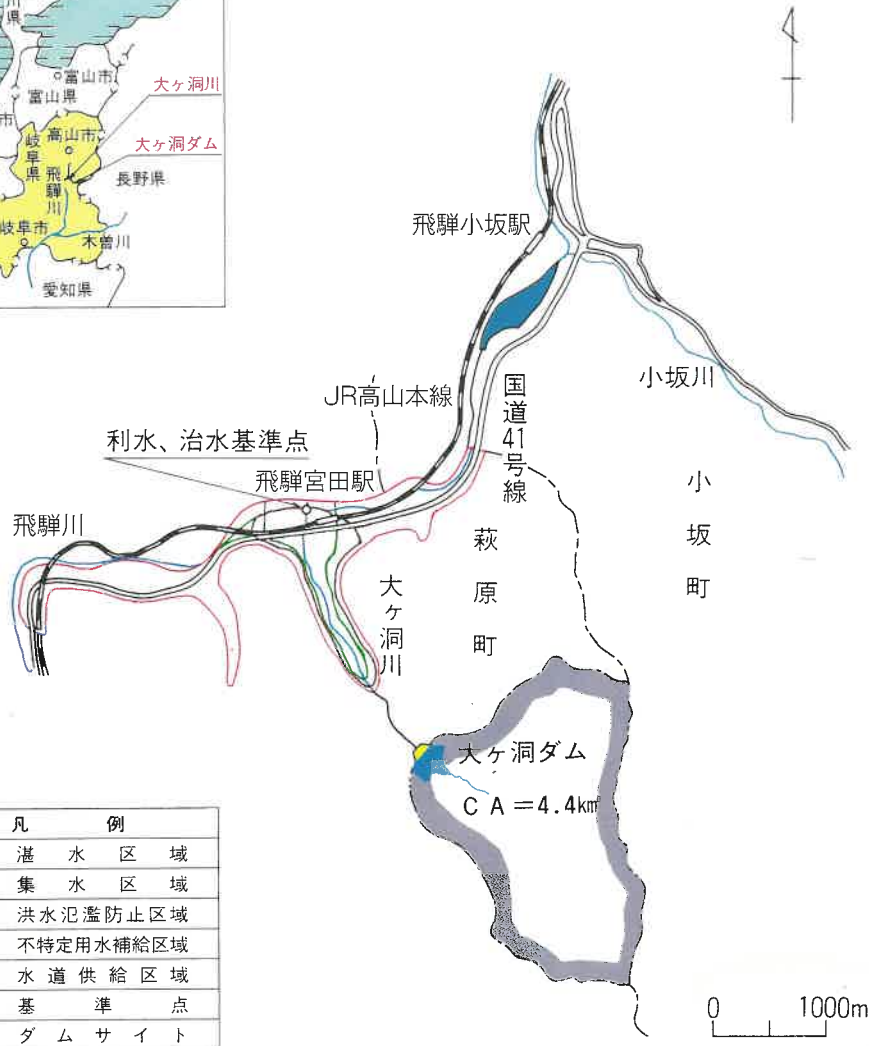
## ◆ダム下流面図



## ◆越流部標準断面図



# 流域一覧図



ダム正面



ダム側面



天下十刹 禅昌寺



飛騨川温泉しみずの湯



飛騨川公園



四美・岩太郎桜



- 位置 東経137°12′ 北緯35°52′
- 標高 最高1,647m 最低392m
- 面積 143.15km



久津八幡宮

## 快適空間, 南飛騨 はぎわら

萩原地区は、下呂市の中央より北に位置し、東は旧小坂町、西は旧馬瀬村、南は旧下呂町、北は高山市と接しており、面積は143.15km<sup>2</sup>、南北25km、東西5kmと細長い地形をなしています。

飛騨川と山之口川が中央を流れ、沿岸には田・畑が開け、比較的平坦な土地が多く、集落を形成しています。隣接町村との境は日本アルプスに連なる飛騨山脈に囲まれており、町の面積の89%を山林が占め豊富な森林資源に恵まれています。

春には山の木々がいっせいに芽をふき、夏には飛騨川の清流で水遊びに興ずる子供やアユを追う太公望たちの姿が見られ、秋には美しい紅葉、冬にはうっすらと雪化粧した山々と、四季それぞれに風情を味わうことができます。国道41号線、JR高山線が飛騨川に沿って走っており、国道の対岸と尾崎地区から山之口の位山峠を経て高山市に通ずる県道が伸びています。

お問い合わせは

### 岐阜県下呂土木事務所

〒509-2592 岐阜県下呂市萩原町羽根2065-1  
TEL (0576) 52-3111(代) FAX (0576) 52-1948

平成11.5  
平成19.3  
改訂 平成28.11